

第2回通学区域審議会資料

「令和5年度児童・生徒数推計及び想定値について」

【教室不足時の対応の種類】

- ・35人学級や38人学級ではなく、40人学級で対応する。(小山小で実施済み)
- ・特別教室を教室として転用する。
例) PC室を利用する。(全児童生徒にタブレット配付のため)
- ・特別支援学級を分割して使用する。
- ・学童と教室を共有する。

◎それでもなお、教室不足が見込まれる場合には

- ・校舎の改修及び増設をする。
- ・学校を新設する。

(1) 八木南小学校について

- ・使用可能教室は25教室である。
※前提として、使用可能教室数には、学童教室や他団体で使用している教室も含まれております。
- ・令和8年度754人(29学級)、令和9年度930人(34学級)となる。
- ・昨年度の推計値より下回っているため、次年度以降の推移を探り、校舎増設の時期を検討する。

(2) 鱒ヶ崎小学校について

- ・使用可能教室は28教室である。
- ・令和7年度731人(28学級)、令和8年度764人(30学級)となる。
- ・今後教室不足が見込まれている。
- ・特別支援学級の教室を分割しながら対応し、状況に応じて校舎増設も検討する。

(3) 令和6年度における小山小学校の教室不足への対応について

- ・使用可能教室は52教室である。
- ・令和6年度、5学級分を生み出す必要がある。
 - ① 4年生を40人学級とする。(学年については変更の可能性有り)
※なお、40人学級で対応している学年には、1学級あたり1名の市独自の担任サポート教員・指導員を配置して対応する。
 - ② 特別支援学級を分けて使用する。
 - ③ 1階プレイルームを特別支援学級教室として活用する。
 - ④ 学童と教室を共有する。

〈今後予定されている対応策〉

- ・令和6年度中に多目的スペース及びプレイルームの改修をする。
- ・令和6年度中にPTA会議室を普通教室へ改修をする。

(4) おおぐろの森小学校について

- ・使用可能教室は32教室である。
- ・令和7年度1,042人(37学級)、令和8年度1,229人(43学級)、令和9年度1,338人(46学級)となる。
- ・令和9年度に向けて校舎増設を見込んでいる。
- ・それまでの期間については、特別教室の普通教室への転用、特別支援学級の教室の分割や学童との共有をする。

(5) 常盤松中学校について

- ・使用可能教室数は17教室である。
- ・令和7年度536人(20学級)、令和8年度577人(21学級)となる。
- ・令和8年度に向けて校舎増設を見込んでいる。

(6) おおたかの森中学校について

- ・使用可能教室は23教室である。
- ・令和10年度780人(25学級)、令和11年度838人(26学級)となる。
- ・おおたかの森小学校の児童数の減少が見込まれているため、引き続き生徒数の推移を注視し、小学校の空き教室を活用していくこととする。

(7) おおぐろの森中学校について

- ・使用可能教室は30教室である。
- ・令和10年度964人(32学級)、令和11年度1,053人(35学級)となる。
- ・生徒数の推移を注視し、必要に応じて校舎増設の時期を検討する。

(8) 特別支援学級について

〈算出方法について〉

- ・特別支援学級の児童生徒数については、不確定な部分が多く、現在は学校全体児童生徒数に対する特別支援学級の児童生徒数の割合で算出しております。しかしながら、御指摘のとおり、特別支援学級の児童生徒数も増加傾向にありますので、算出方法については見直しを検討しております。

(9) 北部地区小学校の空き普通教室について。

- ・現在、新川小学校では流山市指導課教育研究企画室のフレンドステーションとして活用され、新川小学校では流山市博物館の文化財課発掘作業ルームとして活用されております。
- ・今後も空き教室の活用については、教育委員会及び学校で検討してまいります。

(10) 南流山第二小学校、市野谷小学校、南流山中学校（移転後）の使用可能な普通教室の数について。

【整備済教室数】2023.9月時点

学校名	整備済普通学級数	整備済特別支援学級数
南流山第二小学校	27教室	2教室
市野谷小学校	20教室	3教室
南流山中学校（移転後）	29教室	5教室

【R10 想定 児童生徒数・学級数】

学校名	R10 想定 児童生徒数	R10 想定 学級数
南流山第二小学校	909人	32学級
市野谷小学校	596人	23学級
南流山中学校（移転後）	1,028人	33学級

・現在、令和10年度に向けて、備品や教室数の整備をしているところである。

・想定値で不足が見込まれる南流山第二小学校の教室数については、推計値を参照しながら必要に応じて整備を行っていく。